

製品名: SSRP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86498**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:81 kDa; Observed MW:81 kDa

抗原情報

遺伝子名	SSRP1
別名	FACT; T160; FACT80
遺伝子 ID	6749
SwissProt ID	Q08945
免疫原	ヒト SSRP1 の合成ペプチド

背景

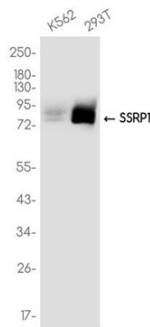
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、SUPT16Hとともにクロマチン転写伸長因子 FACT を形成するヘテロ二量体のサブユ

ニットです。FACT はヒストン H2A/H2B と特異的に相互作用し、ヌクレオソームの分解と転写伸長を引き起こします。FACT とシスプラチンによって損傷を受けた DNA は、シスプラチンの抗腫作用に極めて重要である可能性があります。このタンパク質は、シスプラチンによって修飾された DNA の構造認識因子を構成すると考えられる高移動度グループボックスを含んでいます。このタンパク質は、転写活性化因子 p63 の共活性化因子としても機能します。この遺伝子の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されていますが、その全長は不明です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

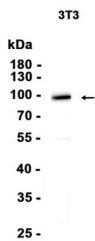
研究分野

-

画像データ



SSRP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した K562、293T 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。



AMRe86498 を 1:1000 で使用した 3T3 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。